

第39回奈良県中和病診連携の会報告

日時 : 平成29年 3月11日(土) 14時30分～17時00分
場所 : 大和高田市立病院 放射線治療棟 3F 大会議室
参加者数 : 医師 39名
院内職員(医師以外) 7名
地域スタッフ(訪問看護・施設) 10名 / 合計 56名

<内容>

まず、大和高田市医師会長 池田 定嗣先生より開会のお言葉をいただきました。

【Session 1】では、菅原 裕医師より「中堅医師からみた当院の現状」と題し、当院での外来から入院までの流れや、受け入れの現状、多様な症例に対応していることを発表されました。

次に、山本医院 山本 忠彦院長より「診療所からみた病診連携に望むこと」について発表をされました。診療を行う上で見逃したくない疾患を3つ挙げ、診療所で行っておられる検査や、検査所見をもとに病院へ紹介するタイミングについて実際の症例でお伝えいただきました。



【Session 2】では、奈良県立医科大学 第1内科学教室 斎藤 能彦教授より「心不全医療の現状を課題」についてご講演を行って頂きました。日本の死因第2位は心疾患であり、要介護になる要因の25%が脳卒中・循環器系疾患患者であり、これからは専門診療科だけでなく、他科と共同しながら脳卒中や循環器疾患に対応していくことが求められます。

奈良県の健康寿命を伸ばすため、患者アンケートや様々な評価で調査された結果、心疾患をもつ高齢者のうち、55%が独居や老老介護という実態がありました。ここを支えていかなければ、心疾患の改善は困難です。在宅生活を見据えた対応の重要性についてもお教えいただきました。

今後も研修会を継続して実施し、奈良県中和の病診連携を推進していきたいと思っております。
お忙しい中、多数のご参加有り難うございました。

次回は平成29年7月15日(土) 14時30分～ 開催予定です。

作成者氏名 : 地域医療連携センター 津森 美紀

